

2026年3月期 第3四半期決算概要

- 欧州の建築用ガラス事業の改善等により、累計および10-12月期で大きく増収増益
- 欧州市場の改善の遅れや米国関税政策等による不確実性もあり、通期業績予想の達成はチャレンジングだが、引き続きあらゆる施策をグループ横断で実施
- 前年度からは回復しているが、中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」の2027年3月期財務目標とは依然ギャップあり。引き続き収益性の回復およびキャッシュ・フローの改善に注力

1. 2026年3月期 第3四半期決算

- 第3四半期(10-12月期)の売上高は2,198億円(前年同期比+123億円、+5.9%)、営業利益は65億円(同+59億円、約11.3倍)と大幅改善
- 累計の売上高は6,406億円(前年同期比+106億円、+1.7%)、営業利益は185億円(同+77億円、+71.3%)で、増収増益。売上高は欧米の自動車用ガラス事業、営業利益は欧州の建築用ガラス事業が前年度から大きく改善し増加
- 税引前利益が黒字の一方、法人所得税は49億円(前年同期は31億円)となり、これにより当期損失は41億円(前年同期比+52億円改善)、純損失*は51億円(同+49億円改善)
- フリー・キャッシュ・フローは、運転資本の季節的な変動により322億円のマイナス(同+142億円)。自己資本比率は11.6%(前期末比+1.1pt)と改善。有利子負債は5,702億円(同+454億円)

<損益計算書および財務指標>

(億円)	10-12月期(3か月)			4-12月期 累計(9か月)		
	2025年3月期	2026年3月期	差異	2025年3月期	2026年3月期	差異
売上高	2,075	2,198	123	6,300	6,406	106
営業利益	6	65	59	108	185	77
営業利益率	0.3%	3.0%	+2.7pt	1.7%	2.9%	+1.2pt
個別開示項目(純額)	△ 25	△ 1	23	△ 25	△ 7	18
個別開示項目後営業利益	△ 19	64	83	83	178	95
金融費用(純額)	△ 56	△ 75	△ 18	△ 182	△ 210	△ 28
持分法による投資利益	12	15	3	37	44	7
持分法投資に関する その他の利益(△損失)	-	△ 0	△ 0	-	△ 4	△ 4
税引前利益(△損失)	△ 64	4	68	△ 62	8	70
当期利益(△損失)	△ 59	△ 7	52	△ 93	△ 41	52
純利益(△損失)*	△ 62	△ 9	53	△ 101	△ 51	49
EBITDA	130	201	70	481	582	101
フリー・キャッシュ・フロー	△ 178	△ 126	52	△ 464	△ 322	142

*親会社の所有者に帰属する当期利益(△損失)

(億円)	2025年3月末	2025年12月末	増減
総資産	10,329	10,749	420
親会社の所有者に帰属する持分	1,081	1,243	163
自己資本比率	10.5%	11.6%	+1.1pt
有利子負債	5,248	5,702	454

<各事業の概況>

建築用ガラス事業	売上高は減少したが、営業利益は欧州で生産停止による需給改善に伴い販売価格が改善し、大幅に増加。コスト削減も引き続き寄与。太陽電池パネル用ガラスの需要は、アジアでは米国関税政策等を踏まえた取引先の生産調整の影響により減少だが、10-12月期は改善傾向。米国では堅調な需要が継続
自動車用ガラス事業	売上高および営業利益は改善。販売数量は減少したが、補修用ガラス事業を中心に戸販売価格が改善。欧州では付加価値製品の拡大に伴い販売構成が改善。日本では販売数量および販売価格が伸び悩む。北米では補修用ガラス事業の販売価格が米国関税政策により上昇、新車用ガラス事業の一時的な生産効率低下は継続。欧州での生産体制の見直しは計画通り進捗
高機能ガラス事業	累計売上高および営業利益は一部製品の販売構成の影響を受け減収減益。10-12月期は当初計画通り販売構成が改善し、増益

(億円)	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	10-12月期	累計	10-12月期	累計	10-12月期	累計
売上高						
建築用ガラス事業	942	2,741	951	2,727	9	△ 14
自動車用ガラス事業	1,016	3,189	1,127	3,339	111	150
高機能ガラス事業	115	362	114	330	△ 1	△ 32
その他	3	7	7	9	4	2
売上高合計	2,075	6,300	2,198	6,406	123	106
営業利益						
建築用ガラス事業	20	86	71	189	51	103
自動車用ガラス事業	△ 9	26	0	35	9	9
高機能ガラス事業	18	57	24	47	6	△ 10
その他	△ 23	△ 62	△ 30	△ 87	△ 7	△ 25
営業利益合計	6	108	65	185	59	77

2. 2026年3月期 業績予想

- 通期業績予想は変更なし。達成はチャレンジングだが、利益改善のためのあらゆる施策をグループ横断で実施
- 欧州市場の緩やかな改善を見込むが想定より遅れ。他地域では米国関税政策の影響による不確実性が残る
- 当初想定よりも円安継続を見込む一方、一部事業・地域で原燃材料価格上昇、インフレ傾向を反映した人件費等のコスト増加も継続
- 繰延税金資産の見直しを検討中であり、第4四半期に税金費用が恩恵を受ける可能性

<業績予想>

(億円)	2026年3月期 上期実績	2026年3月期 4-12月期 累計実績	2026年3月期 通期予想 (変更なし)	2025年3月期 通期実績 (参考)
売上高	4,208	6,406	8,500	8,404
営業利益	120	185	310	165
個別開示項目(純額)	△ 6	△ 7	10	△ 52
個別開示項目後営業利益	114	178	320	112
金融費用(純額)	△ 135	△ 210	△ 270	△ 253
持分法による投資利益	25	40	60	55
税引前利益(△損失)	4	8	110	△ 85
当期利益(△損失)	△ 34	△ 41	40	△ 135
純利益(△損失)*	△ 42	△ 51	20	△ 138

*親会社の所有者に帰属する当期利益(△損失)

3. 中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」の進捗状況

「2030 Vision : Shift the Phase」財務目標の進捗状況			NSG GROUP
	2027年3月期 目標	2030年3月期 目標	2026年3月期（4-12月期） 実績
収益性 (P/L)	営業利益	640億円	185億円：欧州建築用ガラス事業の改善により前年同期比で増益
	営業利益率 (ROS)	7%	10%以上 2.9%：前年同期比で1.2pt改善
キャッシュ創出 (C/F)	フリー・キャッシュ・フロー	270億円	△322億円：運転資本の季節的な変動によりマイナスだが、前年同期比で改善
財務基盤の安定化 (B/S)	有利子負債	4,420億円	5,702億円：前期末から454億円増加
	自己資本比率	15%	11.6%：前期末から1.1pt改善

<お問い合わせ> (報道関係等) 広報部 (お問合せページ) <https://www.nsg.co.jp/ja-jp/contact-us>